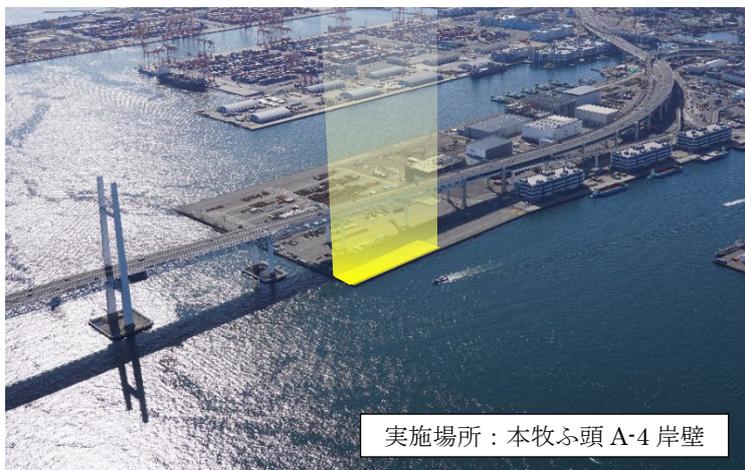


横浜港本牧ふ頭にてアンモニア燃料タグボートへの アンモニアバンカリングが実施されました ～Truck to Ship 方式で世界初～

本日（7月17日）、本牧ふ頭A-4岸壁にて、アンモニア燃料タグボートに対して、**Truck to Ship 方式（裏面参照）による燃料アンモニアの供給が行われました。同方式での船舶への燃料アンモニア供給は世界初の取組**です。

横浜市は、横浜港におけるアンモニア燃料タグボートの受入れについて令和4年5月に日本郵船株式会社、株式会社IHI原動機、一般財団法人日本海事協会と覚書を結び、燃料供給に関わる運用方法や、輸送・受入れ体制の構築、安全対策などの協議を行ってきました。今後、アンモニア燃料タグボートは、世界初の商用のアンモニア燃料船として横浜港で8月下旬を目途に就航予定です。

横浜市は2050年の脱炭素社会の実現を目指し、国や民間事業者等と連携しながら、カーボンニュートラルポート（CNP）の形成に向けて、様々な次世代船舶燃料に関する取組を進めていきます。



1 アンモニアバンカリングの様子



アンモニア燃料タグボート



アンモニアバンカリングの様子

2 関係事業者

開発・建造	日本郵船株式会社、株式会社IHI原動機 一般財団法人日本海事協会、京浜ドック株式会社
船舶運航	株式会社新日本海洋社
燃料供給	株式会社JERA
燃料製造・輸送	株式会社レゾナック、東京パワーテクノロジー株式会社 楠原輸送株式会社

(参考1) バンカリングの方法について

(1) Truck to Ship



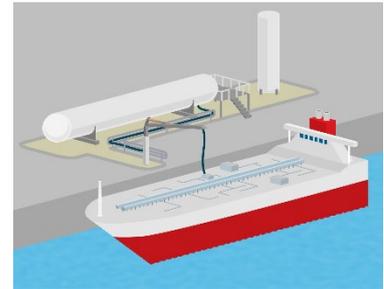
岸壁に着岸し、ローリー車から船舶へ燃料を供給する。

(2) Ship to Ship



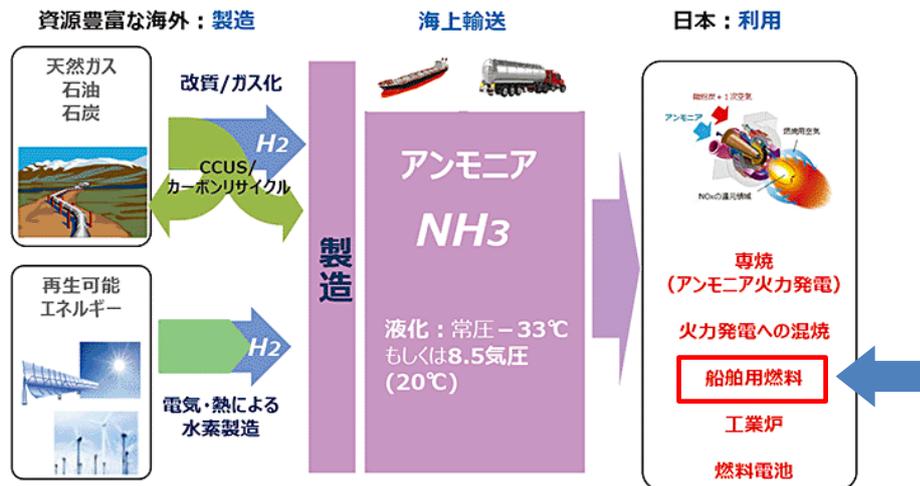
岸壁・棧橋に着岸・着棧中の船舶に燃料供給船が接舷し、船舶から船舶へ燃料を供給する。

(3) Shore to Ship



燃料を供給可能な岸壁・棧橋に着岸・着棧し、陸側施設から船舶へ燃料を供給する。

(参考2) 燃料アンモニア利用の概略（資源エネルギー庁ホームページより）



横浜港におけるカーボンニュートラルポートの取組

お問合せ先

横浜市港湾局政策調整課カーボンニュートラルポート担当課長 中村 仁 Tel : 045-671-7279